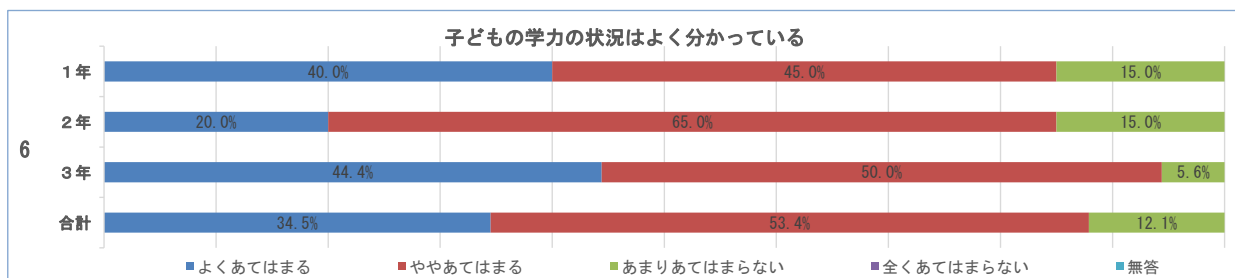
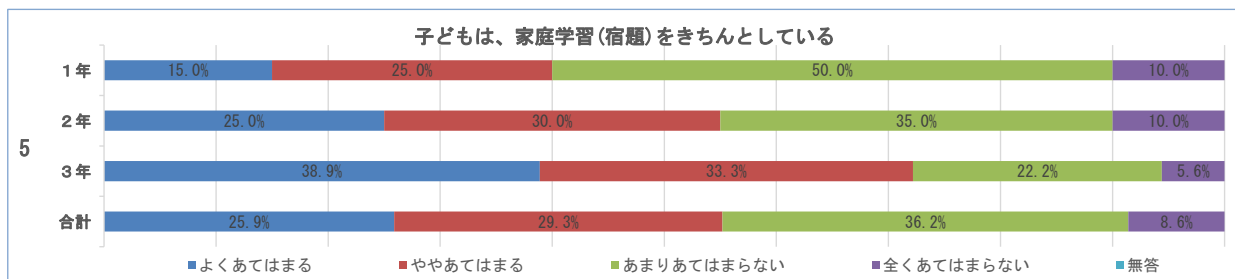
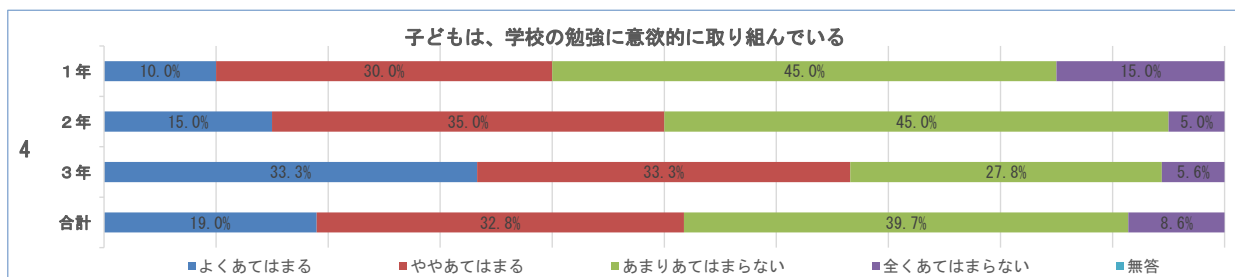
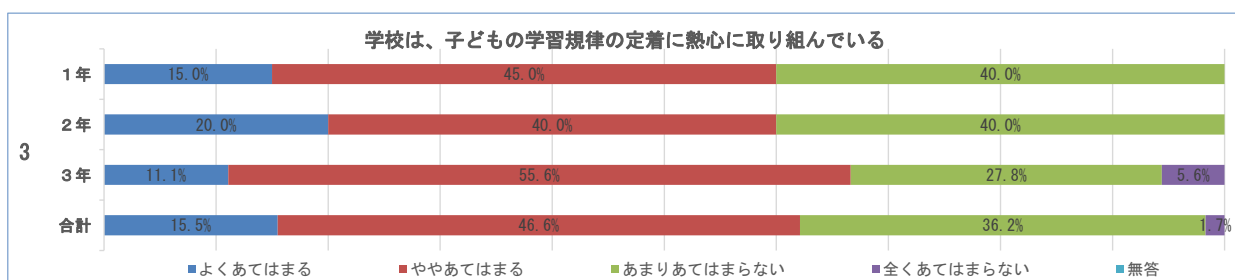
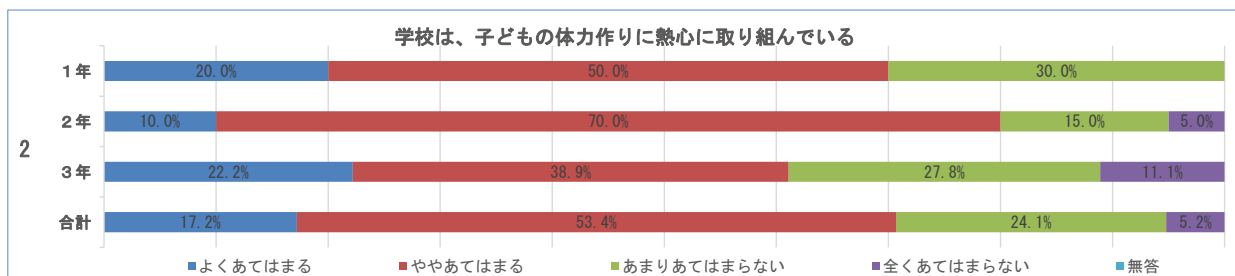
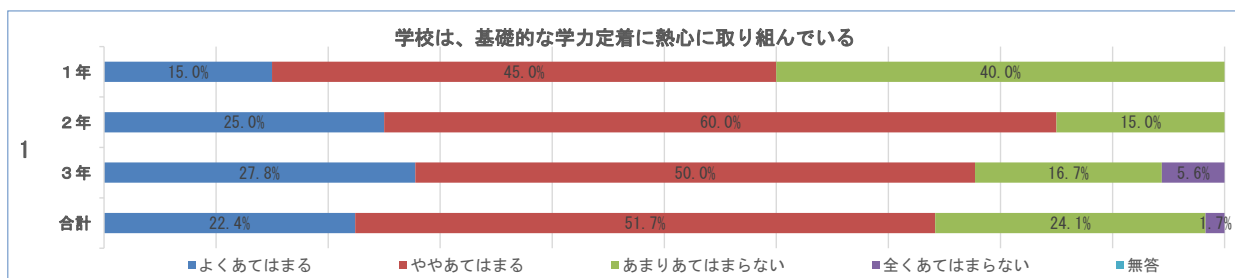


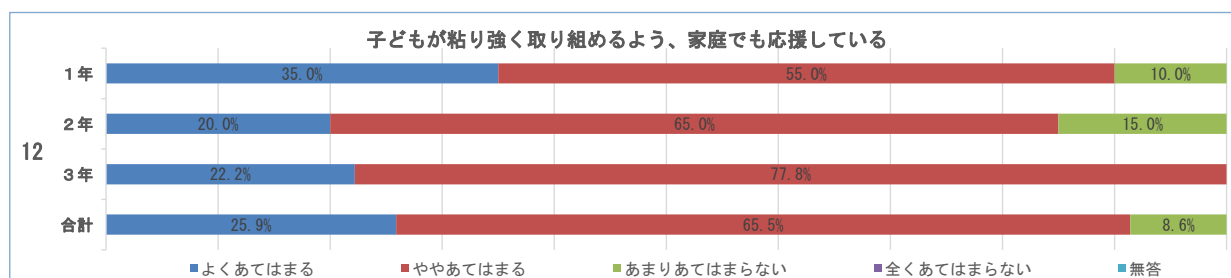
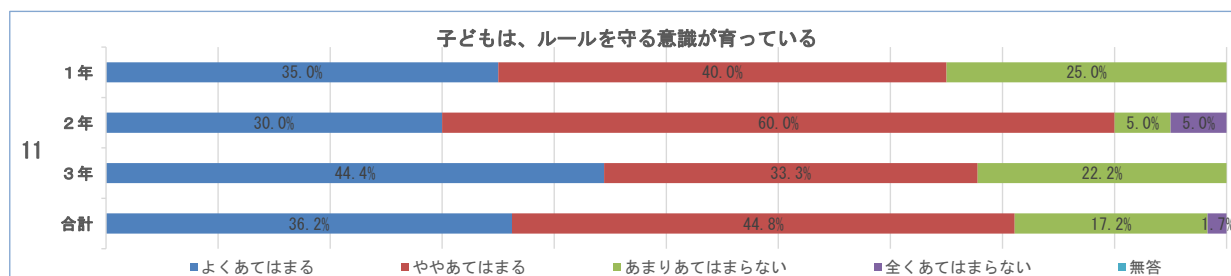
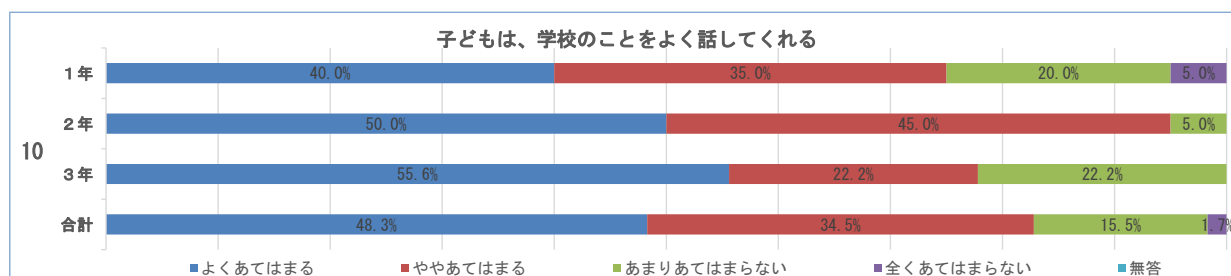
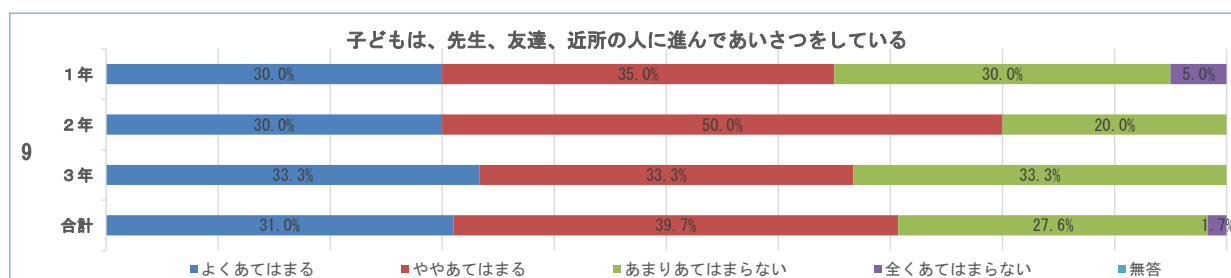
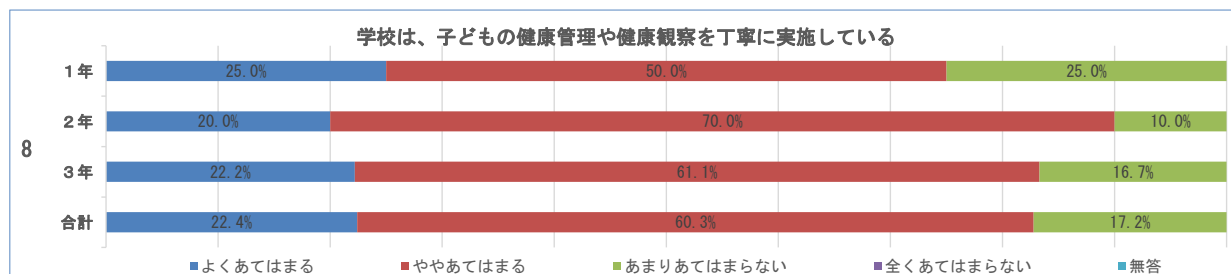
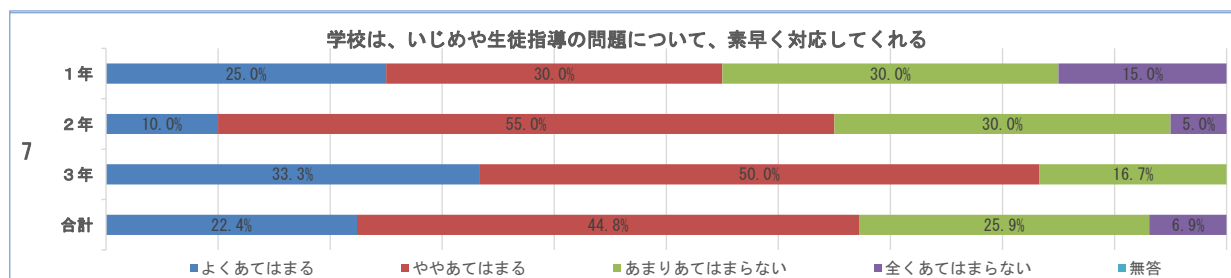
学校評価アンケート

瀬戸中学校（保護者）



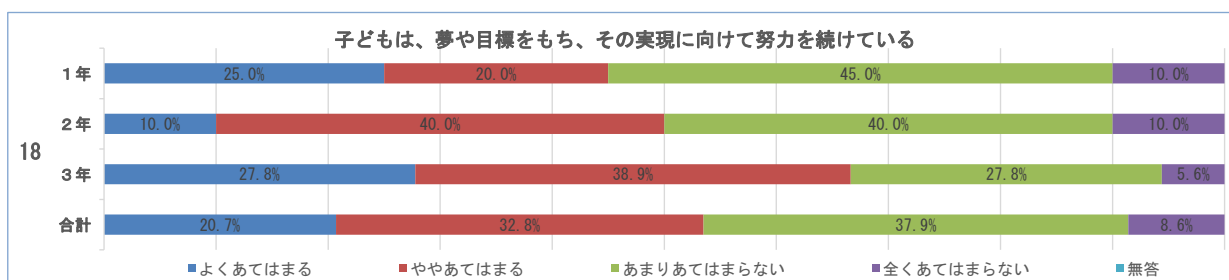
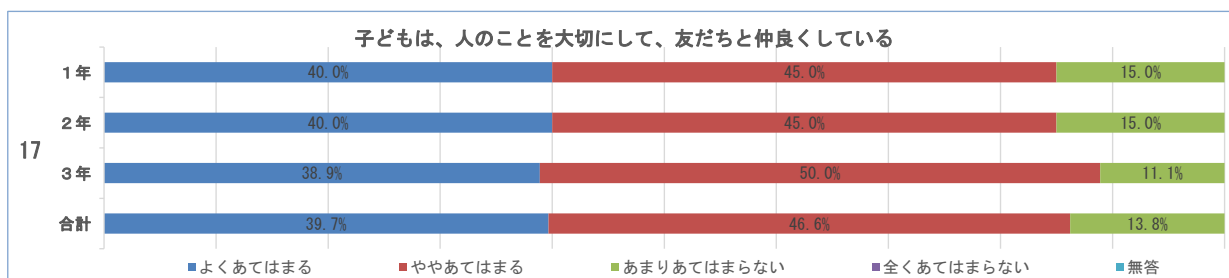
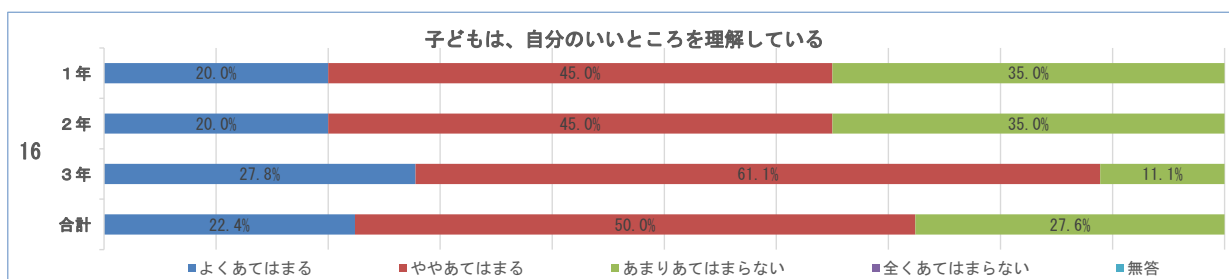
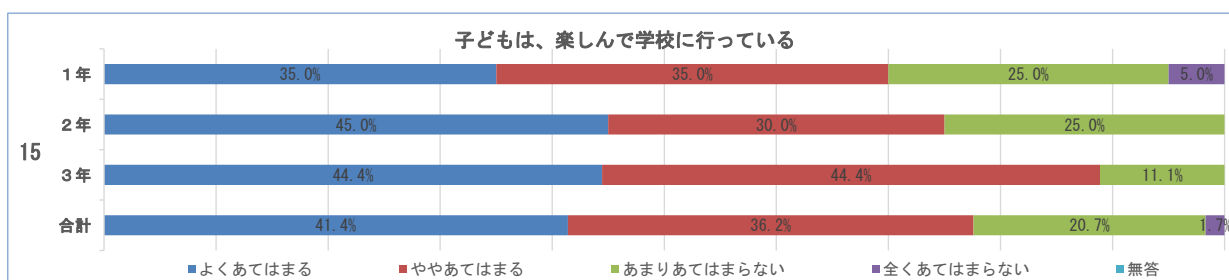
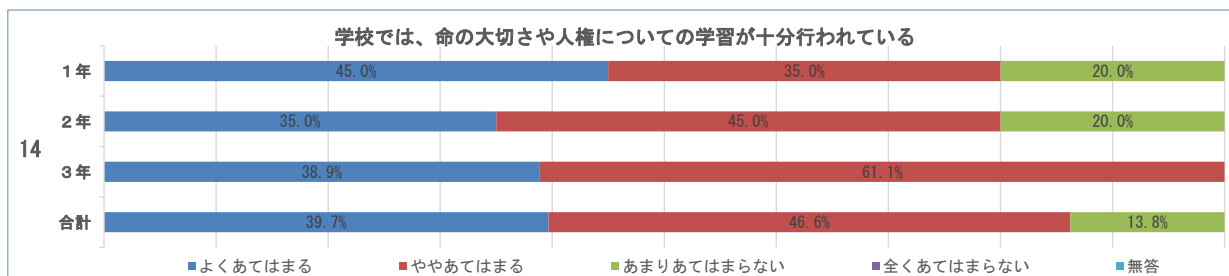
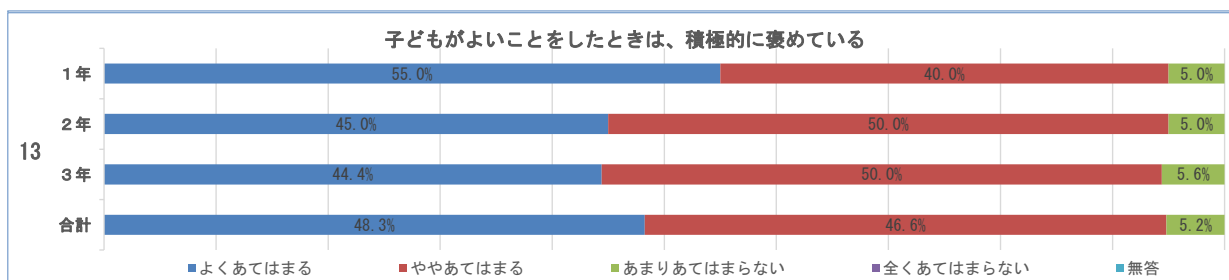
学校評価アンケート

瀬戸中学校（保護者）



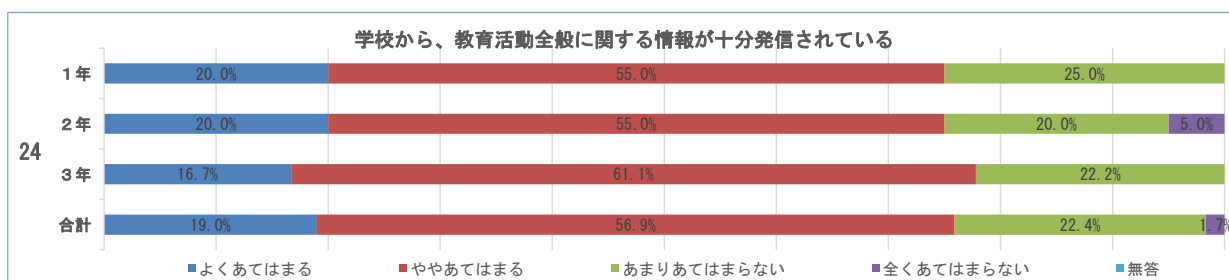
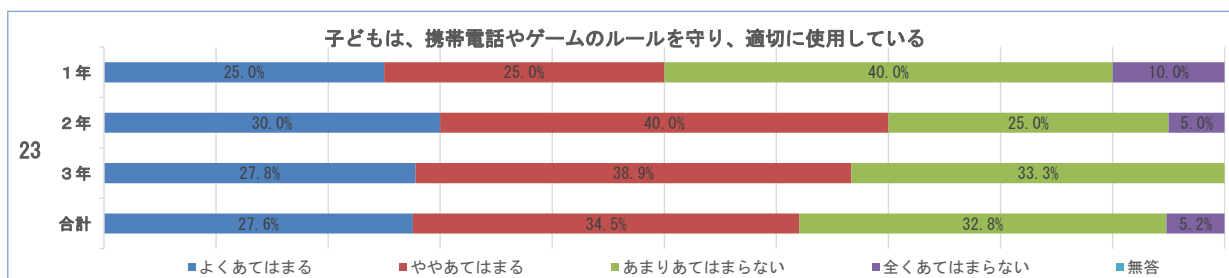
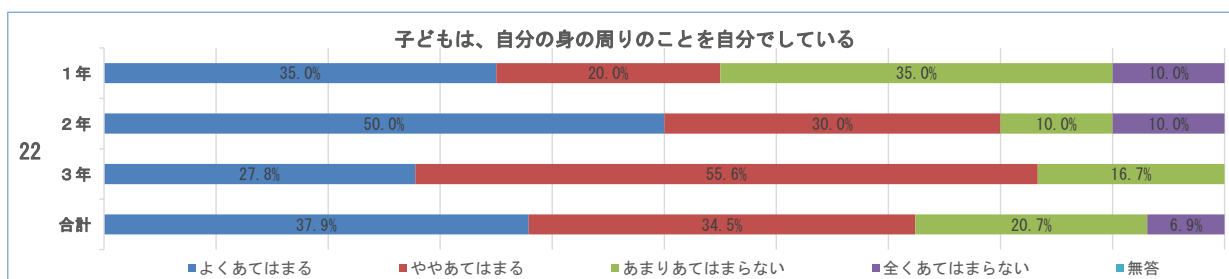
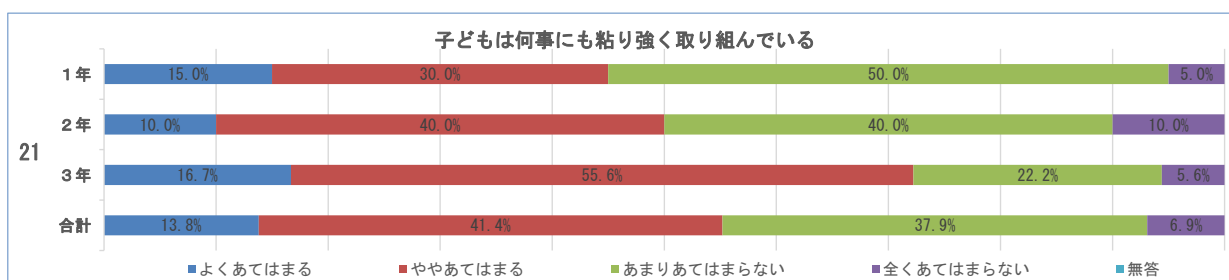
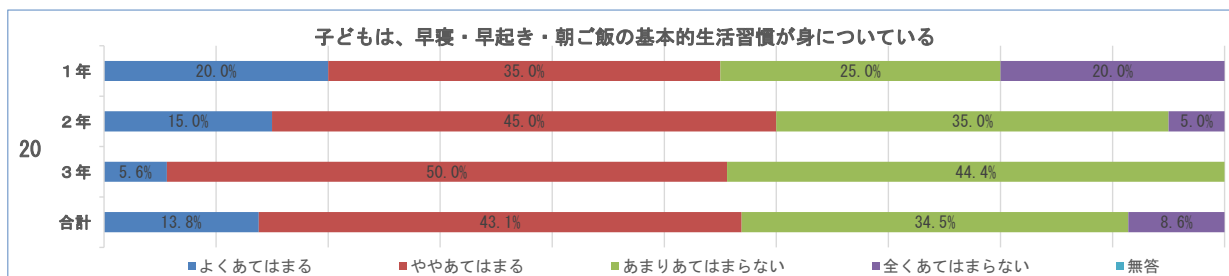
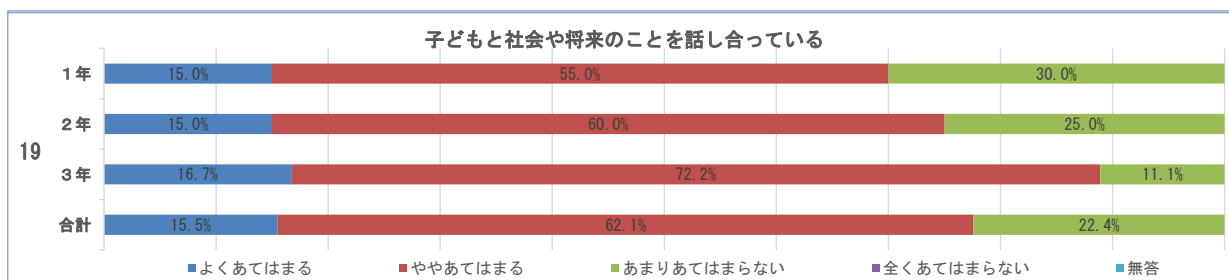
学校評価アンケート

瀬戸中学校（保護者）



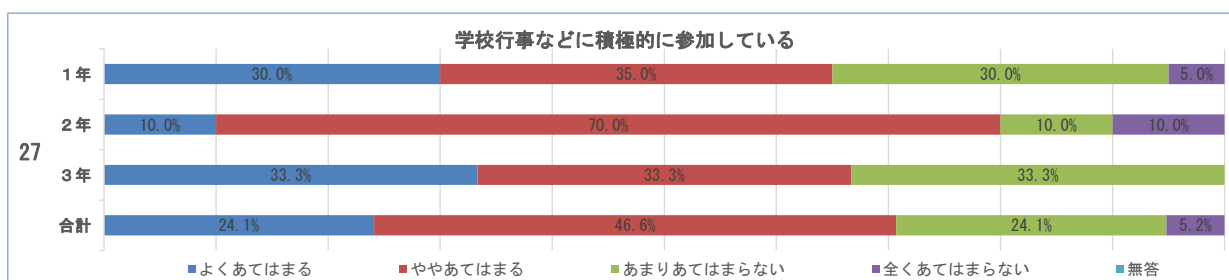
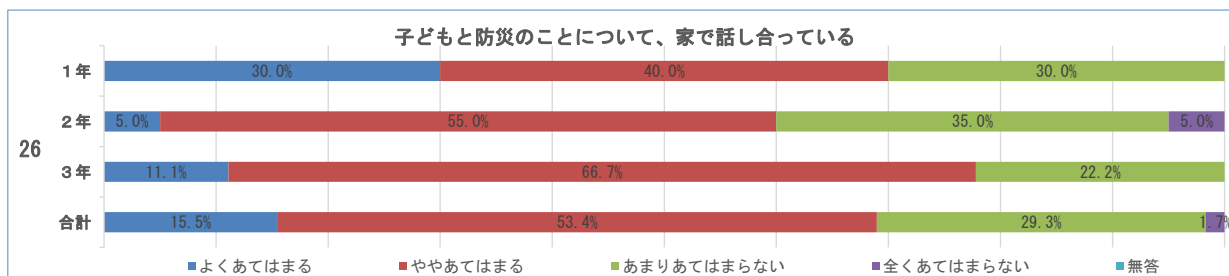
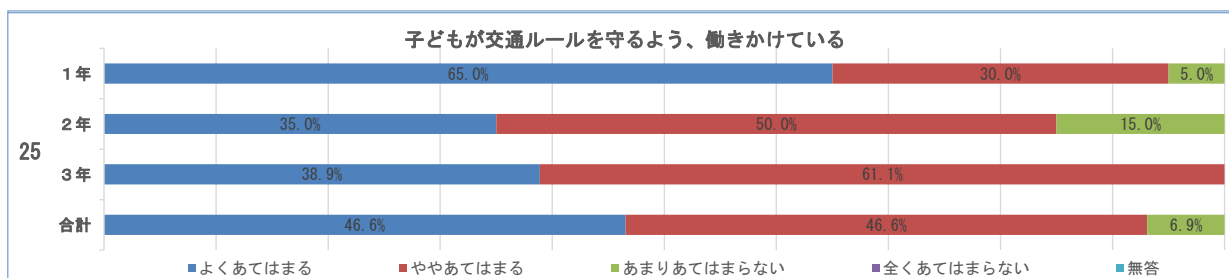
学校評価アンケート

瀬戸中学校（保護者）



学校評価アンケート

瀬戸中学校（保護者）



「保護者の調査」について

保護者の学校評価では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」において、概ね満足できる割合が昨年度の数値より大きく下回っている現状を真摯に受けとめます。特に設問項目3「学校は、子どもの学習規律の定着に熱心に取り組んでいる」では「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の回答が37.9%、設問項目4「子どもは学校の勉強に意欲的に取り組んでいる」では「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の回答が48.3%となりました。これらは、本校の課題であり、「学習規律の定着」「勉強に意欲的に取り組む」は、学力向上につながります。この課題・改善に向けて、学校全体で学ぶ意義・意味を生徒とともに共有し、指導者が授業改善に向けて日々努力を重ねていきます。また、設問項目7「学校は、いじめや生徒指導の問題について素早く対応してくれる」では、昨年度から概ね満足できる割合が6.5%減少しました。改めて生徒・保護者と教職員の関係性を見直し、主任・担任、部活動顧問等のそれぞれの立場で生徒の変化に気づき、素早く対応していきます。また、教職員間で常に生徒に関する情報を共有できる体制づくりに努めてまいります。

今後、日々の学校生活や教育活動のなかで、人間関係を深め相談しやすい雰囲気をつくること。また、さまざまな関係機関と連携した取り組みを強化し、生徒が安心安全な学校生活が過ごせるように取り組んでいきます。

「学力・学習指導」の分野（設問1～6）

設問項目のうち、昨年度から概ね満足できる割合が大きく下回っており、全体として学習内容・方法の見直しが本校の課題です。本校では、今年度から新に教育DX推進事業の指定を受け、各教科横断的な取り組みを行っています。まだまだ、成果が現れるには時間はかかりますが、タブレット端末等を活用した授業を実践する中で、生徒が自ら考え、主体的に学ぶために課題設定をし、解決できる力を育成していこうとしています。また、グループ学習等における学習を通して、互いに学び・教え合う機会を取り入れた深い学びへとつなげていきます。さらに、体力向上についても、保健体育の授等業を通して、「できる・できた」時の喜びや達成感等の成功体験ができるようにしていきます。

「学校生活・生活指導」の分野（設問7～13）

設問項目のうち、概ね満足できる割合が80%を超えている項目が5つあり、学校教育目標の実践ができている成果だと考えます。しかし、設問項目10「子どもは、ルールを守る意識が育っている」に関しては昨年度から概ね満足できる割合が11.1%減少しています。設問3の学習規律も含めて、教職員間で共通理解を図り、日々の生活の中で一貫した指導に努めてまいります。

また、保護者の皆さまと連携を図り、家庭連絡や家庭訪問等の教育相談を充実させ、生徒のよりよい成長につなげていきたい思います。さらに、今後も各種便りの発行や日頃から生徒への声かけ等を行い、生徒指導の問題等においても素早く対応し、安心安全な学校を構築してまいります。

「人権教育・進路指導」の分野（設問14～19）

設問項目14「学校では、命の大切さや人権についての学習が十分行われている」では、昨年度から概ね満足できる割合が2.1%増加しました。また、設問項目18「子どもは、夢や目標をもち、その実現に向けて努力を続けている」では、昨年度から概ね満足できる割合が8.3%の減少、生徒の回答についても1.8%の減少となりました。学校の取り組みの中で、今年度も「夢・心づくり塾」「総合的な学習の時間」においてさまざまな講演を開催しました。今後は、このような講演だけにとどまらず、体験的な活動を計画的に取り入れるなどし、自己肯定感を高め、「自立型人間の育成」に向けて取り組んでまいります。中学生の段階では、明確な夢（就学・就労）を持っていることは少ないと思われますが、自分の進路選択にあたり、自分の個性や趣味・特性を加味しながら、進路選択・決定に向けて意識の底上げを図っていきます。

「自主・自律」の分野（設問20～23）

設問項目のすべてにおいて、概ね満足できる割合が昨年度から減少しています。生徒自身が自らの課題（問題）であることに気づき、生活習慣の点検・改善、強い意志を持って生活ができるように指導の機会の工夫や各種便りの発行などを通して、行動・実践ができるようにしていきます。また、学校運営協議会やPTA家庭教育学級等を活用し、さまざまな意見を反映させながら、地域・家庭・学校が一体となった取り組みを推進していきます。

「地域連携・安全教育・環境教育」の分野について（設問24～27）

設問項目25、26については、安全な生活をする上で特に重要視すべき内容です。各家庭で日頃からの取り組みの成果が現れており、概ね満足できる割合が増加しています。今後も防災・安全教育に関して、指導する教職員の意識を高くするとともに、様々な教育活動を通じてフェーズフリーを推進していきます。また、設問項目27「学校行事などに積極的に参加している」では、概ね満足できる割合が年々増加しており、学校教育への関心・期待が高いことがうかがえます。常に保護者の方へのきめ細かな情報発信を行い、ともに生徒を育てていくための協力を得られるように、働きかけを継続していきます。